

会告 No.5

2023

◇通知・案内事項

○化学工学会第54回秋季大会開催案内・講演募集……………本号6ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2023)	(2024)
◇年会		
◇秋季大会	9/11～13(福岡大学)	3/18～20(大阪公立大学)
◇支部大会	8/8～9(山形大会)	
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会告ページ
2023年5月 May			
15	オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計編(5/15, 16, 22, 23)(オンライン)	5月8日(月)	4号8
17	オンライン版「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(5/17, 24)(オンライン)	5月10日(水)	4号9
18～19	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	5月10日(水)	4号10
25	『カーボンニュートラルへの化学工学』出版記念シンポジウム(愛知県/オンライン)	5月18日(木)	本号12
25～26	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	5月17日(水)	4号10
31	「プラント計装制御-1」講座(5/31～6/2)(東京都)	5月23日(火)	4号11
2023年6月 June			
9	「仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～」講座(東京都)	6月1日(木)	4号11
12～13	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計編(千葉県)	5月12日(金)	4号9
14～16	「反応器の設計」講座(東京都)	6月7日(水)	4号12
19	第16回機器分析講習会(オンライン)	6月12日(月)	本号11
19～20	第29回化学安全講習会(オンライン/大阪府)	6月2日(金)	本号13
21～7/5	第9回初心者のための化学工学入門講習会(オンライン)	6月14日(水)	本号10
23	「知的生産性を高めるチームづくり」講座(東京都/オンライン)	6月15日(木)	4号12
23	第65回関東技術サロン「国内外の水素エネルギーに関する動向及び今後の展望」(オンライン)		本号11
26～27	「プラント計装制御-2」講座(東京都)	6月16日(金)	4号12
28～30	「P&IDの作り方」講座(東京都)	6月21日(水)	4号13
2023年7月 July			
1	第60回化学関連支部合同九州大会(福岡県)		3号12
6～7	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成編(東京都)	6月28日(水)	4号9
7	第47回 基礎化学工学演習講座(第1クール)(7/7, 10)(オンライン)	6月27日(火)	4号17
7	第8回ソフトマター工学分科会講演会(東京都)	6月23日(金)	本号10
10	「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(東京都)	7月3日(月)	4号13
13～14	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(東京都/オンライン)	7月6日(木)	4号14
14～15	第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会(鹿児島県)	6月8日(木)	本号13
19～21	第47回 基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)	6月27日(火)	4号17
25	「発酵・培養技術の基礎と実践 ～乳酸菌の発酵・培養を題材にした課題解決の考え方～」講座(7/25, 26, 8/1, 2)(オンライン)	7月18日(火)	4号14

27～28	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性・蒸留計算 編(オンライン)	7月21日(金) 9:00	4号8
31	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性・蒸留計算 編:オプション(東京都)	7月27日(木)	4号8
2023年8月 August			
2～4	第47回 基礎化学工学演習講座(第3クール:1日単位・ライブ配信) (8/2～4, 7～10, 21～22)(オンライン)		本号11
8～9	化学工学会山形大会2023(3支部合同大会)(山形県)	5月31日(水)	4号16
19	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(木)	本号8
22	オンライン版「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座 (8/22, 24, 29, 31)(オンライン)	8月14日(月)	4号14
27	Chemical-Energy-Car Competition 2023(オンライン)	7月20日(木)	本号9
2023年9月 September			
11～13	化学工学会第54回秋季大会(福岡県)	6月15日(木)	本号6
30	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 鹿児島県の予定)	8月31日(木) 13:00	4号5
2023年10月 October			
14	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)	6月30日(金)	本号9
2023年11月 November			
2	「Pythonで気軽に化学工学 ～データ解析・機械学習入門～」講座(11/2, 16, 17)(東京都)	10月26日(木)	4号15

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
8月14～18日	The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17) (第17回国際伝熱会議)(Cape Town, South Africa)		10号12
9月8～10日	令和5年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部80周年記念国際会議 (宮城県)	6月30日(金)	4号16
12月1～2日	International Symposium on Chemical Engineering 2023 (第34回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2023)(韓国慶州)	7月31日(月)	本号13

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2023年度化学人材育成プログラム(東京都 他)	4月1日～ 2024年3月31日 (土～日)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
No.23-21 講習会「サステイナブルコミュニティの形成に向けた暮らしとものづくりの最新技術動向」(オンライン)	5月11～12日 (木～金)	日本機械学会 動力 エネルギーシステム 部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) morimoto@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/23-21/
塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」 (東京都)	5月12日(金)	色材協会	03-3443-2811 office@jscm.or.jp https://shikizai.org/seminar/
海水資源・環境シンポジウム2023(オンライン)	5月19日(金)	日本海水学会 海 水資源・環境研究 会	0465-47-3161 (0465-48-6242) shigen@swsj.org https://www.swsj.org/research/folder39/kaisuishigenn-symposium2023.html

腐食防食部門委員会 第348回例会(大阪府)	5月23日(火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimmu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第58回真空技術基礎講習会(大阪府)	5月23~26(火~金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/18/detail.php?eid=00005
第247・248回西山記念技術講座 「サステナブルな社会を支える高機能厚板の技術進展と将来展望」(大阪府(対面開催)/東京都(ハイブリッド開催))	5月24日~6月6日 (水~火)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2023/nishiyama247.html
第60回日本伝熱シンポジウム(福岡県)	5月25~27日 (木~土)	公益社団法人日本伝熱学会	092-802-3016 (092-802-3017) symp2023@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2023/index.html
第23回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月27~28日 (土~日)	マリンバイオテクノロジー学会	03-6205-5601 (03-6205-5602) mb2023kanazawa@gmail.com http://marinebiotechnology.jp/mbt2023/
第8回マルチスケール材料力学シンポジウム(茨城県)	5月28日(日)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimmu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第28回 計算工学講演会(茨城県)	5月31日~6月2日 (水~金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jscses.org https://www.jscses.org/koenkai/28/
日本コンピュータ化学会2023年春季年会 (東京都/オンライン)	6月1~2日(木~金)	日本コンピュータ化学会	080-2388-0894 scejoffice@scej.net https://www.scej.net/events/nenkai/2023sp/
第51回全国設備管理強調月間(2023年度)(全国)	6月1~30日 (木~金)	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会	03-6865-6081 event@jipm.or.jp https://info-jipm.jp/f/awareness-month/
第68回粉体入門セミナーI(東京都)	6月7~8日(水~木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/
日本エネルギー学会 [リサイクル・バイオマス・ガス化] 三部会(RGB)シンポジウム ~カーボンニュートラルとエネルギー安定供給~(オンライン)	6月8日(木)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 jie-events2023@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/905/
混相流レクチャーシリーズ48 格子ボルツマン法の基礎と応用と課題(オンライン)	6月9日(金)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp https://lecture48.peatix.com
2023年度ゼロライトフォーラム 「カーボンニュートラルへ向けた動向と技術開発」 (神奈川県)	6月9日(金)	日本ゼロライト学会	080-1346-9631 miki.sugita.mc@mcgc.com https://jza-online.org/events/
第12回JACI/GSCシンポジウム(東京都/オンライン)	6月13~14日 (火~水)	公益社団法人新化学技術推進協会	03-6272-6880 (03-5211-5920) jacigsc12@jaci-gsc.com https://jaci-gsc.com/12th/
23-2 ポリマーフロンティア21 主題=地球環境にやさしい高分子・プラスチック材料の循環利用技術(オンライン)	6月14日(水)	高分子学会 行事委員会	044-455-5720 (044-455-5721) spsj@andtech.co.jp https://member.spsj.or.jp/event/

熱測定オンライン講習会 2023 (オンライン)	6月15日～ 7月28日(木～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/2023onlinelecture/
第69回粉体入門セミナーⅡ(東京都)	6月20～21日 (火～水)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/
第34回年次大会(東京都)	6月21～22日 (水～木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第53回 安全工学シンポジウム (安全工学シンポジウム2023)(東京都)	6月22～23日 (木～金)	日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会	03-3262-6605 anzen@gakkai-web.net https://www.anzen.org/index.html
The 7th International Symposium on Fuels and Energy (ISFE2023)(広島県/オンライン)	7月3～4日(月～火)	広島大学エネルギー超高度利用研究拠点	082-424-5762 (082-422-7193) bpre@hiroshima-u.ac.jp https://symposium2023.isfe.hiroshima-u.ac.jp/
第70回粉体入門セミナーⅢ(東京都)	7月5～6日(水～木)	一般社団法人日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/
第60回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月5～7日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
IFAC World Congress 2023(神奈川県)	7月9～14日 (日～金)	一般社団法人 自動制御協会/日本学術会議(IFAC JAPAN NMO) ※申請中	045-221-2155 ifac2023@congre.co.jp https://www.ifac2023.org/
International Congress on Membranes & Membrane Processes 2023 (ICOM2023)(千葉県)	7月9～14日 (日～金)	日本膜学会	03-6892-5104 (03-6892-1830) icom_2023@nta.co.jp http://icom2023.jp/
第10回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都/オンライン)	7月14日(金)	公益社団法人 日本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2023@pacmice.jp https://dx-mice.jp/EZEntry/basic-lecture2023/Entry
第33回環境工学総合シンポジウム 2023(島根県)	7月25日(火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2023@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml
環境工学国際ワークショップ2023(島根県)	7月25～28日 (火～金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2023@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/symp/index.shtml
メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2023(東京都)	7月26～28日 (水～金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/exhibit/index.html
第57回技術討論会(鹿児島県)	7月27～28日 (木～金)	一般社団法人粉体工学会	075-351-2318 (075-352-8530) office@sptj.jp http://www.sptj.jp/event/tech/

第26回IUPAC化学熱力学国際会議 ICCT-2023(大阪府)	7月30日～8月4日 (日～金)	日本熱測定学会	03-5821-7120 (03-5821-7439) netsu@mbd.nifty.com https://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/lab/micro/ICCT2023/index.html
第32回日本エネルギー学会大会(福岡県)	8月8～9日(火～水)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai32sanka@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/895/
第51回可視化情報シンポジウム(北海道)	8月8～10日 (火～木)	一般社団可視化情報学会	03-5993-5020 (03-5993-5026) office@vsj.jp https://www.vsj.jp/symp2023/
日本混相流学会混相流シンポジウム2023(北海道)	8月24～26日 (木～土)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2023/
第40回エアロゾル科学・技術研究討論会(群馬県)	8月30日～9月1日 (水～金)	日本エアロゾル学会	(03-5227-8632) jaast-touron@conf.bunken.co.jp https://www.jaast.jp/new/home-j.html
第7回ソフトマター国際会議(ISM2023)(大阪府)	9月4～8日(月～金)	ソフトマター国際会議2023組織委員会	075-383-2661 ryoichi@cheme.kyoto-u.ac.jp https://ismc2023.jp
第39回ファジィシステムシンポジウム(FSS2023)(長野県)	9月5～7日(火～木)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2023_committee@j-soft.org https://soft-cr.org/fss/2023/
2023年度工学教育研究講演会(広島県)	9月6～8日(水～金)	日本工学教育協会、中国・四国工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2023_jsee_conference@jsee.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2023/top
PHMAP23(Asia Pacific Conference of the Prognostics and Health Management Society 2023)(東京都)	9月11～14日 (月～木)	日本航空宇宙学会、PHM Society	075-753-3367 secretariat@phmap.jp https://phmap.jp/
Asian Symposium on Contamination Control 2023(石川県)	9月20～22日 (水～金)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) asc2023@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp/
日本流体力学会 年会2023(東京都)	9月20～22日 (水～金)	一般社団法人日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) info@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2023/
EcoDesign2023国際会議(13th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(奈良県)	11月29日～ 12月1日(水～金)	エコデザイン学会連合	06-6879-7260 ecodesign2023_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2023/

化学工学会第54回秋季大会開催案内・講演募集

会場：福岡大学 七隈キャンパス(〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1)
※口頭セッションはオンライン参加(発表・聴講)を可能とする予定です。

会期：2023年9月11日(月)～9月13日(水)

講演申込期間：2023年5月8日(月)～6月15日(木)23:59
大会Webサイトからの申込に限ります。

要旨提出期間：2023年7月3日(月)～8月9日(水)23:59 必着

講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。

一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。

大会WebサイトURL：<http://www4.scej.org/meeting/54f/>

化学工学会第54回秋季大会は、2023年9月11日(月)～13日(水)の3日間、福岡大学七隈キャンパスにおいて開催されます。(口頭セッションはオンライン参加を可能とする予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)本秋季大会では、本会外からの招待講演を多く含む「特別シンポジウム」(講演発表非公募)、部会が中心となって提案した「部会横断型シンポジウム」、「部会シンポジウム」など、多くの企画を実施いたします。該当するシンポジウムが不明の方は、化学工学会第54回秋季大会実行委員会にご相談下さい。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従って下さい。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成して下さい。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承下さい。また講演要旨は、参加登録者(参加費支払済みの方)に、大会Webサイトで限定公開いたします。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認下さい。)

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、オンライン開催を基本とし、口頭セッションについてはオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とする予定です。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第54回秋季大会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会Webサイトをご確認下さい。

注意点

○各セッションの開催形態と発表可否の選択について

本大会では、前述の通りオンライン開催を基本とする計画です。口頭発表についてはインターネット配信(自動公衆送信による再送信とみなされます)しますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

オンライン参加者は遠隔会議システム(Zoom)の

環境準備(カメラ、マイク；PC付属のものでも可)が必要となります。

なお、開催形態、オンライン参加・オンサイト参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

前述の通り、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更の可能性もあります。つきましては、講演申込の際に、オンサイトからの発表と、オンラインからの発表、それぞれについて可否をお尋ねいたします。いずれかを「否」とご回答いただいた場合はご発表いただけなくなる可能性がありますのでご注意ください。

○講演発表申込時の発表者事前了解について

必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得て下さい。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について

発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力下さい。

(※上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっています。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載下さい。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について

学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。

学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

特別シンポジウム

本大会では、本会外からの招待者を多くお招きする「特別シンポジウム」を開催します。

※通常、講演発表の公募は行いません。

※テーマ、詳細な内容、開催日等は大会Webサイトでご確認下さい。

講演発表申込

○申込資格

1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。

化学工学会

名誉会員

正会員(シニア会員、永年会員を含む)

学生会員(ジュニア会員を除く)

教育会員

海外会員(正会員、連携会員、学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員

部会個人賛助会員

部会法人賛助会員に属する社員

共催学会の個人会員

特別講演者および招待講演者、依頼講演者

中国化学工学会(CIESC)、韓国化学工学会

(KICChE)、台湾化学工程学会(TwIChE)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米

国化学工学会(AICChE)、インド化学工学会

(IICChE)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会本部Webサイト(<https://www.scej.org/>)をご参照下さい。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込み下さい。講演申込期間は、2023年5月8日(月)から6月15日(木)23:59までです。大会Webサイトからの申込に限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承下さい。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管して下さい。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使い下さい。

なお、講演プログラムの編成上、申込時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任下さい。

○申込時の注意事項

- * 講演申込期間以外は受理できません。
- * JISコードのない日本語文字は使用しないで下さい。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないで下さい。
- * 講演申込1件分を1つずつ送信して下さい。
- * 二重送信は絶対にしないで下さい。
- * 申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信して下さい。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛（申込者、研究グループ代表者）に受理番号を記載した受理通知が送られます。
- * 申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせ下さい。
- * プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
- * 最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態の生じることが予測されます。余裕を持ってお申し込み下さい。
- * 大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧下さい。

○講演分類

講演申込時には、講演を希望するシンポジウム、セッション番号を指定して下さい。一覧は大会Webサイトにてご確認ください。

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2023年7月3日（月）から8月9日（水）23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出（アップロード）して下さい。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名（連名発表者全員）が申込時のそれらと異なるように注意して下さい。異なっている場合はプログラム（大会Webサイト、講演要旨集、冊子）に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル（Microsoft Wordファイル）を掲載します。ご利用下さい。

- 1) 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出（アップロード）して下さい。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 2) 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚（1ページ）です。ただし、20分を超える講演は2枚（2ページ）です。
- 3) 原稿1ページの書式は以下を基準とします。
全体体裁：2段組み、24字×49行×2段＝2,352字、段間の間隔6mm
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
字数、行数は多少変動しても構いませんが、

横172mm、縦254mmの中に全内容を納めて下さい。

- 4) 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm（9文字分）、上マージンから21mm（4行分）を空白にしておいて下さい。
- 5) 講演題目は、1行目の左マージンから31mm（9文字分）空けて、本文より大きく書いて下さい。
- 6) 研究者氏名を「(所属略称) (会員資格・保有している取得化学工学会資格) 氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いて下さい。所属名は略称を記入して下さい。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないで下さい。保有している化学工学会資格は7)を参照して下さい。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけて下さい。また、後日、講演内容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけて下さい。
(例) (信州大)○(正・技士)化工一郎*・(学)長野花子・若里太郎
- 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記して下さい。化学工学修士：修習、化学工学技士（基礎）：技基、化学工学技士：技士、首席化学工学技士：上技。
(例) (正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等
- 8) 本文は5行目左欄から書いて下さい。ただし、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いて下さい。
- 9) 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載して下さい。

〈PDFファイルに関する注意点〉

- 1) ファイルサイズは1,229kB以下にして下さい。
- 2) セキュリティ設定は「なし」にして下さい。
- 3) 「全てのフォントの埋め込み」を行って下さい。
- 4) PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出（アップロード）して下さい。
- 5) PDFファイルの提出（アップロード）には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます（受理通知が再送されます）。
- 6) 締切日までの間は、何回でも「提出（アップロード）」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

〈講演要旨原稿提出時の注意事項〉

* 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集（別売り）に掲載いた

しません。

* 締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について

化学工学会では、化学工学会Webサイト（会員専用ページ）の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3ヶ月後です。

発表形式

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載致します。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト（<https://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>）をご確認ください。また、第54回秋季大会の講演要旨公表日は2023年8月28日（月）です。

広告・プロモーションビデオ・オンライン展示の募集（予告）

プログラム集冊子広告、バナー広告、オンライン展示、プロモーションビデオ掲載等を募集いたします。詳細は次号会告および大会Webサイトをご覧ください。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

問合せ先

化学工学会第54回秋季大会実行委員会
E-mail : inquiry-54f@www4.scej.org

「化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2023年6月1日(木)～7月20日(木)

試験日時：2023年8月19日(土)10:45～16:45

試験会場：東京、大阪の2ヶ所を予定。詳細は試験申込サイトでご確認下さい。

合格発表：2023年11月中

「化学工学技士」は、化学工学に関連した専門の応用能力を必要とする化学技術に係る業務(研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理)を行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます。(退会と共に失効します)

2023年度も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を取り、試験会場にて筆記試験を行います。受験資格は問いませんので、多くの方が受験されることを期待致します。

資格取得のメリット

1. 「知的生産性を高めるチームづくり」講座及び「しごとの常識」塾を割引価格で受講可能です。
2. 化学工学に関する知識・能力を持っていることをアピールできます。また、転職の際に活用することができます。
3. 上席化学工学技士受験に必要な実務経験年数が短縮(15年⇒10年)されます。
4. 上席化学工学技士試験を割引価格【27,500円→22,000円(2022年度)】(消費税10%込)で受験できます。

試験内容 筆記試験により審査します。実務経験10年程度の能力が目安となります。

筆記試験では、化学工学一般、専門知識、及び、その応用能力があるかを試験します。

試験は休憩時間を挟み、第一部試験と第二部試験に分かれております。

第一部試験(11:00～12:30)

化学工学の基礎的な能力を問う問題で、「化学工学技士(基礎)」資格認定試験相当です。

出題は、プロセス収支、流動、伝熱、反応、分離技術の5分野より各1題です。

「化学工学技士(基礎)」資格保有者は、第一部試験を合格したものとみなし、受験を免除されます。

「化学工学技士(基礎)」資格の認定期間は、取得から8年間限定です。2014年度以前の取得者は既に失効致しました。

参考書等の持ち込みは禁止されております。

第二部試験(13:45～16:45)

1. 課題解決・設計問題【3題解答(内1題必須)】(60点)

「化学工学技士」として業務で遭遇する問題を解決するために必要な基本的知識や対応の仕方などを問う。数値を議論し、化学工学的な思考を問う問題を1題(必須)も含む。

2. 用語説明【3題選択回答】(15点)

「化学工学技士」として知っていて欲しい技術

用語の説明、及び、実務での使用例を簡潔に記述。

3. 技術課題と技術動向(25点)

「化学工学技士」として関心を持って欲しい技術課題や技術動向についての見解を自らの実務経験と照らし合わせて論述。

新技術、安全、環境、資源・エネルギー分野や人材育成などについて、与えられた課題の中から1課題を選択し、小論文(1,200字以内)を作成。

※第一部試験の合格と第二部試験の合格を両方合わせて、「化学工学技士」試験の合格と致します。

※合格者に対して、評価(S, A, B, C)を設け、本人にフィードバック致します。

※試験詳細と過去の試験問題は、ホームページ(<https://www.scej.org/qualification/shikaku-gishi.html>)をご確認下さい。

学習内容及び参考図書

■第一部試験

参考図書：次の図書などを参考にして学習して下さい。

- ・「解説化学工学 改訂版」(培風館)
- ・「改訂新版 化学工学通論I」(朝倉書店)
- ・「化学工学 改訂第3版-解説と演習- 化学工学会 監修」(朝倉書店)
- ・「化学工学概論」(産業図書)
- ・「技術者のための化学工学の基礎と実践 化学工学会編」(アグネ承風社)
- ・「基礎化学工学」(共立出版)
- ・「基礎化学工学 化学工学会編」(培風館)
- ・「基礎からの化学工学」(東京化学同人)
- ・「現代化学工学」(産業図書)
- ・「実例で学ぶ化学工学 課題解決のためのアプローチ 化学工学会教科書委員会編」(丸善出版)
- ・「新版 化学工学の基礎」(朝倉書店)
- ・「はじめての化学工学 化学工学会高等教育委員会編」(丸善出版)
- ・「はじめて学ぶ化学工学」(丸善出版)
- ・「標準化学工学」(化学同人)
- ・「標準化学工学I-収支・流体・伝熱・平衡分離-」(朝倉書店)
- ・「標準化学工学II-反応・制御・速度差分-」(朝倉書店)
- ・「ベーシック化学工学」(化学同人)

※その他、79巻1号に掲載された教科書一覧(pp.45-49)もご参考して下さい。

■第二部試験

*課題解決・設計問題

実務上の経験や継続教育講座(4号会告6～15ページ参照)のテキストや修了レポートなども活用して整理して下さい。

*用語説明

化学工学の関連する基礎的な用語を学習して下さい。

*最近の技術課題及び技術動向

化学工学誌10月号「化学工学年鑑」など。

受験料(消費税10%込)

受験資格		受験料
化学工学技士(基礎)保有者	個人会員	8,800円 (本体8,000円)
	個人会員以外	22,000円 (本体20,000円)
化学工学技士(基礎)非保有者	個人会員	16,500円 (本体15,000円)
	個人会員以外	29,700円 (本体27,000円)

申込方法 化学工学会ホームページ(<https://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ(https://service.kktes.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)で「2023年 化学工学技士 申込受付」を選択し、お申し込み下さい。受験料は振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。

「継続教育ポイント」による受験について

「継続教育」各講座の受講と修了レポートや化学工学技士(基礎)取得によって「継続教育ポイント」を獲得できます。また、獲得した「継続教育ポイント」の合計が100ptに達した受講者には、100ptにつき1回、「化学工学技士」資格認定試験を受験する機会を無料で提供しております。

「継続教育ポイント」の獲得に関する詳細は、4号会告7ページをご確認下さい。

正会員の方はマイページの『受講ポイント閲覧』に「継続教育ポイント」が表示されております。(『参加行事閲覧』には、受講履歴及び各行事におけるポイントの明細が表示されています)

個人で会員になられていない方(例えば、法人会員の社員)で、自らの獲得ポイントをご確認したい方は、下記までお電話でお問い合わせ下さい。本人確認の上、取得した「継続教育ポイント」と、『参加申込(会員の方)』の青色のボタンから入るために必要なIDとPWをお伝えします。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター

資格制度委員会事務局「化学工学技士」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「上席化学工学技士」試験 案内

試験申込期間：2023年6月1日(木)～30日(金)

(一次)書類提出期限：2023年6月30日(金)

(二次)論文提出期限：2023年8月15日(火)必着

(三次)面接審査日：2023年10月14日(土)

合格発表：2023年11月中

「上席化学工学技士」とは、化学工学に関連した知識をベースに、特に高度な専門的応用能力を必要とする化学技術に関する業務(研究、技術開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、技術管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など)を指導的立場で行う技術者・研究者を化学工学会が認定する資格です。

なお、技術レベルの維持・向上のため本資格に有効期限(5年)を設けています。ただし、5年経過以降も化学工学会の個人会員であれば、資格は自動的に継続されます。(退会と共に失効します)

能力水準

化学工学・プロセス工学の幅広い知識と経験を有し、俯瞰的な解析・決定ができること。

受験資格

- (1) 化学工学会の個人正会員であること。会員外の方は事前に会員申込を行って下さい。(コンビニでの支払いの場合、申込申請から入金確認ができるまでに約3週間要する場合があります。クレジット払いの場合は、即時に入金確認できます。)
- (2) 化学技術の分野の中で高度な専門性を持ち、また、その分野においては社会から専門家として認められるような能力があり、更に技術指導ができる能力を有すること。
- (3) 化学工学を含む化学技術分野の専門的業務に携わり、15年以上の実務経験を有すること。(但し、化学工学技士の資格があれば10年で受験可)
- (4) 上述の専門的業務は、以下の何れかの職種において、高度な専門的応用能力を必要とする業務を含むものであること。
(職種) 研究、開発、設計、検討・評価、計画、保守、運転、管理、建設、プロジェクト統括、情報処理など
(注) 学校教育法の大学院修士課程又は博士課程(化学工学関連分野専攻に限る)に在学していた方は(2)の実務経験に2年を限度として算入することができます。

試験内容 一次～三次まで審査があります。

(一次)書類審査

書類審査では、以下の提出内容に基づき、受験資格要件を満たしているかどうかの判定を行います。

業務履歴(事業者の証明印必要)用紙はホームページよりダウンロードして下さい。

社内外の化学工学に関する活動リスト(社外発表、社内発表、特許、論文、雑誌投稿、学会活動、本の執筆、講演会講師等)を書き切れない場合は、別途に記載しても構いません。但し、提出時には1つのファイルとして下さい。

(二次)論文審査

書類審査合格者に対して、①課題論文と②業務論文による論文審査を実施します。

課題論文：所定のフォームでA4用紙2枚以内
業務論文：所定のフォームでA4用紙3枚以内(注)枚数と提出期限を守って下さい。

課題論文は、出題された課題に対して論文を提出して頂きます。高度な専門知識およびその応用能力があるかどうかを判定するものです。但し、A4用紙2枚以内厳守

業務論文は、次に示す3つの事項に関してまとめて頂きます。但し、(1)～(3)をまとめて、A4用紙3枚以内厳守

- (1) 技術実績：A4用紙 2枚以内厳守
- (2) 専門技術：A4用紙0.5枚以内厳守
- (3) 指導力：A4用紙0.5枚以内厳守

(三次)面接試験

論文審査合格者に対して、面接試験を実施します。

内容：課題論文、業務論文および資格要件(業務履歴、活動リスト、資格)に関する質問
面接は4年ぶりに対面で実施致します。

資格取得のメリット

1. 名刺に「上席化学工学技士(Senior Professional

Chemical Engineer)」と刷ることができ、特に海外では化学工学会が認めた高度な専門技術を有する有能な技術者として認知されます。

受験料(消費税10%込)

受験時に個人正会員であることが必要です。
「化学工学技士」保有：22,000円(本体20,000円)
「化学工学技士」非保有：27,500円(本体25,000円)

化学工学技士保有者とは、認定期間中の認定証を保有している方(試験に合格した後、登録と更新を完了させている方)を指します。認定期間を終えている方は対象外となります。

申込方法 化学工学会ホームページ (<https://www.scej.org/>)の「各種申込」の「資格制度」より、または、ホームページ (https://service.kktes.co.jp/smms2/c/scej/license_entry/EventList.htm)で「2023年 上席化学工学技士 申込受付」を選択し、お申し込み下さい。申込後、振込用紙をお送りしますので、郵便局またはコンビニでお支払下さい。
※申込の際に、(一次)書類審査に必要な業務履歴証明書を添付して頂きます。事業者(人事部長または人事部長に相当する方)の証明印が必要ですので、事前に書類をご用意下さい。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター
資格制度委員会事務局 「上席化学工学技士」係
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: qualification“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

Chemical-Energy-Car Competition 2023 参加募集

主催 催：公益社団法人 化学工学会

協 賛：住友化学(株)

参加募集：2023年6月1日(木)～7月20日(木)

開催日：2023年8月27日(日)

化学反応を動力源として走る幅20cm長さ40cm以内の車を各チームで作成し、大会当日に発表される指定の距離まで指定の重さの荷物を積んで走行し、大会では実際の走行した距離と指定された距離との近さを競う。

日時 2023年8月27日(日)13:00～17:00

(参加チーム数で変更する場合があります)

場所 オンライン開催

各チームにそれぞれの場所で走行してもらい、オンラインで繋ぐ。

参加資格 以下の2カテゴリーとする。

- (a) 高校・高専本科に所属する生徒・学生(部活動、クラスなどのチーム参加で担当教員の参加を必須とする)
- (b) 大学(大学院生含む)・高専専攻科に所属する学生(個人参加、チーム参加の何れも可、担当教員については参加を推奨する)

定員 参加チーム数に制限はなし。

参加費 無料(材料・製作費は自己負担)

保険 教育研究災害傷害保険ないしは同様の保険の加入を必須とする。

参加申込受付 2023年6月1日(木)～7月20日(木)

詳細および参加申込方法は化学工学会ホームページの「ケムイーカー コンテスト」のページ <https://www.scej.org/higher/chemecar.html> を参照ください。

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター内
「Chemical-Energy-Car 実行委員会」
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: chemEcar“アットマーク”scej.org

部 会 C T

第8回 ソフトマター工学分科会 講演会・会員総会

主催 化学工学会材料・界面部会ソフトマター工学分科会
協賛 化学工学会材料・界面部会、高分子学会

ソフトマター工学分科会は、材料・界面部会に属する分科会であり、高分子・ゲル・コロイド・分散系を含めたソフトマテリアル全般の機能発現や制御およびその製造プロセスを対象として、微細構造、界面活性剤、コロイド分散系、秩序化、核生成、構造・相分離制御、成形加工、レオロジー、刺激応答などを化学工学的に理解し、ハンドリングする技術を構築していくことを目指しています。コロナ禍の中、第5・6回は完全オンラインで、前回第7回はオンサイト・オンライン併用開催と、ご参加頂く皆様との距離も徐々に縮まってまいりました。この度、第8回の講演会は今のところ対面開催(東京・品川)で準備を進めております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。また、会員間での学術ならびに人的交流を深める場としてご利用いただくと共に、本分科会の趣旨にご賛同頂ける方々の入会を併せてお待ちしております。

日時 2023年7月7日(金) 12:50～18:30(講演

は13:25より開始、懇親会は17:00より開始)
場所 三菱鉛筆(株)研究開発センター品川ミニナールーム
(〒140-8537 東京都品川区東大井5-23-37)

プログラム

1. 会員総会(会計・活動報告)(12:50～13:20)
休憩(13:20～13:25)
2. 開会挨拶(13:25～13:30)
3. 講演
講演1 イエローライトをカットする素材を活用したあたらしい商品開発(ポジカくつきりフィルム)(13:30～14:20)
三井化学(株)合成化学品研究所 西本泰三氏
講演2 界面光反応を鍵とする機能性高分子カプセルの創製(14:20～15:10)
大阪公立大学大学院工学研究科 物質化学生命系専攻応用化学分野 生体高分子化学研究グループ 北山雄己哉氏
休憩(15:10～15:20)
講演3 ファインファイバー技術のメイクアップへの応用(15:20～16:10)
花王(株)研究開発部門 浅見信之氏
講演4 食品多糖類の基礎特性とその活用

(16:10～17:00)

三栄源エフ・エフ・アイ(株)
テクスチャーデザイン基盤研究室
前田和寛氏

4. 懇親会(17:00～18:30予定)
(参加費は当日受付にて申し受けます[2,000円程度を予定])

ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては意見交換会(名刺交換等)に縮小される場合があります。

定員 80名(定員に達し次第、申込みを締め切ります)

申込締切 2023年6月23日(金)

参加費 分科会個人会員・法人会員(協賛団体含む)4,000円、会員外7,000円(学生の場合1,000円)。なお、法人会員の方は3名まで会員価格で参加できます(4人目以降は個人会員でなければ会員外となります)。

申込先・問合せ先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻内
化学工学会材料・界面部会ソフトマター工学分科会事務局
TEL&FAX: 086-251-8083
E-mail: softmatter.eng2016@gmail.com
Web: <http://softmatter-eng.net>

地 域 C T



関 東 支 部

第9回「初心者のための化学工学入門」 オンライン講座

主催 (公社)化学工学会関東支部
共催 (公社)化学工学会SCE・Net

企業で生産あるいは技術開発などに従事されて、業務上化学工学の知識や考え方が必要であるにもかかわらず、大学、高専などで化学工学を学んで来なかった、あるいは十分に学べなかった初心技術者を対象にした講座です。化学工学の基礎的な考え方や実用的な計算を身につけて頂くことを目的に開講致します。

講師は化学工学会SCE・Netに所属する化学工学技術者が当たり、自らの実務経験を反映させて分かり易い解説を行います。「化学工学の基礎」、「流体工学」、「熱工学」、「反応工学」、「分離工学I(蒸留)」、「分離工学II(ガス吸収・膜分離)」の6テーマとします。

学習効果を最大限に高めるために、以下の準備をお願いします。

1. 事前学習(2時間程度)
 - ①オンデマンドビデオを用いたビデオを聴講する(聴講時間:1時間程度)
 - ②ビデオ聴講後、演習問題を行う。
2. オンライン講座(90分)
事前学習教材のポイント解説と、追加演習問題、質疑解説を行う。
企業の人事・教育をご担当される方々におかれましては、化学工学を学んで来なかった技術

者の方々の教育に、ぜひ「初心者のための化学工学入門」をご活用下さい。受講の際には、受講生が事前学習を確実に実施できるよう、ご配慮お願いします。

日時 2023年6月21日(水)、28日(水)、7月5日(水)

会場 オンライン(Zoom)

プログラム

- 第1日目 6月21日(水)
・13:00～14:30 化学工学の基礎入門 金原 聖氏
・15:00～16:30 流体工学入門 宮本公明氏
第2日目 6月28日(水)
・13:00～14:30 熱工学入門 山本一己氏
・15:00～16:30 反応工学入門 紫垣由城氏
第3日目 7月5日(水)
・13:00～14:30 分離工学I(蒸留)入門 竹内 亮氏
・15:00～16:30 分離工学II(ガス吸収・膜分離)入門 中尾 眞氏

注意事項 ZoomとVimeoへのアクセスが必要で、VIMEOへのアクセスが可能な以下のURLからご確認の上、お申込み下さい(社内のネット環境によりアクセスできない場合があります)。
<https://vimeo.com/manage/videos/546611429> パスワードは「videocheck」

事前学習 本研修では、事前学習が必須となります。オンライン講義の約1週間前から、オンデマンドビデオの聴講可能です。オンライン講義では、事前学習を前提に解説を行います。事

前学習も本講座の一環として実施下さい。

推薦図書 「実例で学ぶ化学工学」化学工学会教科書委員会編(丸善出版:定価3,080円)

ご準備いただく物 受講の際には、事前演習の結果、筆記用具、電卓をご用意下さい。

募集人員 50名(先着順)

参加費

化学工学会正会員 3日間(6テーマ)24,000円、1日(2テーマ)12,000円
法人会員 3日間(6テーマ)30,000円、1日(2テーマ)15,000円
会員外 3日間(6テーマ)36,000円、1日(2テーマ)18,000円

*参加費には資料代および消費税を含みますが、推薦図書の代金は含まれません。

*推薦図書については、ご希望があればご連絡下さい。こちらで配送の手配をします。

支払方法 受付後、お送りする振替用紙にて事前にお振り込み下さい。申込締切日後のキャンセルの場合も参加費のご請求をさせていただきます。

申込締切 6月14日(水)

申込方法

・Web申込み
関東支部HP(<http://www.scej-kt.org>)の次回行事開催のご案内の「第9回初心者のための化学工学入門」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信下さい。

・FAX、E-mailによる申込み
参加者氏名、勤務先(所属部署まで)、連絡先(郵便番号、勤務先住所、電話番号、FAX番号)、会員資格、ご希望のテーマを明記して下さい。

でお申込み下さい。尚、請求書ご希望の方は「請求書要」と明記して下さい。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
 公益社団法人 化学工学会 関東支部
 TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530
 E-mail : info@scej-kt.org
 HP : <http://www.scej-kt.org>

第65回 関東技術サロン講演会 「国内外の水素エネルギーに関する 動向および今後の展望」

主催 (社)化学工学会関東支部

国内外で水素エネルギーに対する期待が高まっている。日本では2050年カーボンニュートラル実現のために2020年12月に「グリーン成長戦略」が発表されているが、ここでは水素は「発電・産業・運輸など幅広く活用されるキーテクノロジー」と位置付けられている。海外では2020年中に欧州を中心に多くの国が水素戦略を発表した。また韓国・中国が積極的な産業政策的な展開を進めるようになってきている。今回は、国内外の水素エネルギーに関わる世界の動きと共に、水素関連技術(水素製造、水素輸送・貯蔵・利用)や主要企業の動向および今後の展望について、丸田氏からご講演いただきます。

今回はオンライン講演となりますので、講演会後半の意見交換においてはマイクを通じた直接の質疑応答以外に、チャットからの質問についても講師 丸田昭輝氏からご返答・コメントをいただく予定です。多くの方のご参加お待ちしております。

日時 2023年6月23日(金)16:30～18:00(講演・ディスカッション)

場所 オンライン開催

プログラム

16:30～16:35 関東支部 第3企画委員長 開会挨拶
 16:35～17:35 講演「国内外の水素エネルギーに関する動向および今後の展望」

17:35～18:00 意見交換・ディスカッション

講師 (株)テクノバエエネルギー研究部 統括主査 丸田昭輝氏

参加費 サロンメンバー、SCE・Net会員、正会員、学生会員 無料

法人会員 1,000円、会員外 2,000円

支払方法 受付後、振替用紙にて事前にお振り込みください。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

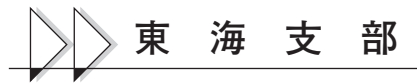
申込方法 下記の化学工学会 関東支部HP又はFAX送信でお申込みください。

関東支部HPから申込み場合、<http://www.scej-kt.org/>の次回行事開催一覧の「関東技術サロン」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。オンライン参加の方へはお申込みいただいた方にZoom URLを個別にご連絡します。参加請求書をご希望の方には請求書も併せてお送りします。

同意事項 オンライン開催の方は、申込みに当たり、以下のことに予めご同意ください。

- ・スクリーンショット等の画面撮影および録画録音等は一切禁止します。
- ・オンライン会議システムの環境構築はご自

身で行っていただきますようお願いいたします。
 申込先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
 TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530
 E-mail : info@scej-kt.org



第16回機器分析講習会

卒業研究を始める4年生や修士学生、実際に分析機器を使用している企業の担当者を対象に、経験豊富なメーカーの分析技術者による講義を通して、分析機器の操作方法や計測手法、日常メンテナンスやノウハウを学び、研究活動のレベルアップを図ることを目的に実施します。講習会は、X線回折コース、走査電子顕微鏡コース、高速液体クロマトグラフコース、および電気化学インピーダンス測定コースの4コースを開催します。また、講義終了後に質問コーナーを設けますので、日常の分析で疑問に思っていること、こんな分析をしてみたい、今使用している機器の消耗品などに関する情報を得たい、何でも構いませんので、気軽に質問や相談してください。

主催 公益社団法人化学工学会東海支部

協賛 静岡化学工学懇話会 他

協力 (株)リガク、日本電子(株)、(株)鳥津製作所、(株)東陽テクニカ

日時 2023年6月19日(月)13:30～17:00

※本講座は、ビデオ会議ツールZoomの「ブレイクアウトルーム」を使用したライブ配信(4コースを同時進行)で開催します。ブレイクアウトルーム間は移動可能なので、開講時間内であれば他のコースへ移動することもできます。

講習会の内容

1. X線回折(XRD)コース

講師：(株)リガク

2. 走査電子顕微鏡(SEM)コース

講師：日本電子(株)

3. 高速液体クロマトグラフ(HPLC)コース

講師：(株)鳥津製作所

4. 電気化学インピーダンス測定コース

講師：(株)東陽テクニカ

募集定員 各コース80名(申込者数が最少催行者数に到達しない場合は、中止する場合があります。)

参加費(含消費税・含テキスト代)

正(個人)・法人会員会社社員 3,000円

非会員/一般 6,000円

学生(会員/非会員) 無料

※協賛学会の会員の方は、化学工学会会員の参加費に準じます。

※テキストには5コース全ての内容が含まれています。

参加方法 参加者はZoomの推奨環境をご参照いただき、アプリケーションを事前にインストールしてください。インストール後、必ず最新版にアップデートしてください。旧バージョン

の場合、ブレイクアウトルームへの参加ができないことがあります。参加者にはZoomミーティングルームのURLをご連絡しますので、当日は各自でZoomミーティングルームのブレイクアウトルーム内にあるご希望コースに移動してください。その他、受講に関する注意事項は、別途メールでご案内させていただきます。

申込方法 下記ホームページ「機器分析講習会」にアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申し込みください。<https://scej-tokai.org/>

送金方法 銀行振込 または 郵便振替(ゆうちょ銀行)

銀行振込：みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521 公益社団法人化学工学会東海支部
 郵便振替：名古屋00880-7-5640 公益社団法人化学工学会東海支部

申込・送金締切 2023年6月12日(月)

受講方法 申し込み・送金を確認できただ後、開催日の3～5日前を目安として、受講用URLと講義資料を配信します。Webを閲覧できるデバイスで受講してください。

問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内

公益社団法人化学工学会東海支部

TEL : 080-4525-3070

第47回 基礎化学工学演習講座 (第3クール:1日単位・ライブ配信)

主催 (公社)化学工学会東海支部

共催(予定) 静岡化学工学懇話会 他

協賛(予定) (公財)中部科学技術センター 他

昨今では、AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが、化学工学の理論との整合性を踏まえて実装する必要があります。また、高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は、益々重要となっています。

本講習会では、受講者のレベルに応じて3つのクールを用意しました。第2クールまでは、プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方を主な対象としておりましたが、第3クールでは、更に専門的な知識を習得したい技術者の方も対象に、原理や理論の説明に加え、豊富な事例に基づく例題を解きながら学べる機会を提供します。専門知識の習得だけでなく、装置設計への活用、運転条件の最適化への一助としてご活用いただければ幸いです。また、企業における社内教育の一部としてもご活用いただければ幸いです。

日程 2023年8月上旬～中旬(1日単位で受講可能) 9:30～17:00(昼食休憩:12:45～13:45)

対象 第2クールまでの初歩・基礎に相当する内容を修めており、専門領域の理論から実践的な事例を学びたい方、エネルギー管理士、高圧ガス製造保安責任者等の国家試験資格の取得を目指す方、化学工学士(基礎)の資格取得を目指す方。

開催方式 Zoom(またはMicrosoft Teams)によるライブ配信を利用したオンライン方式

プログラム(講義は全て日本語で行われます)

	月日	時間	講義	内容	講師
第3クール (各種単位操作など)1日単位で受講可能です。	8月2日 (水)	午前	蒸留	気液平衡関係, 単蒸留, フラッシュ蒸留	名古屋工業大学 名誉教授 森 秀樹氏
		午後		McCabe-Thiele作図, 特殊蒸留	日本リファイン(株) 小田昭昌氏
	8月3日 (木)	午前	粉粒体 操作	粒子・粉体層の性質, 粒子生成	大阪府立大学 名誉教授・(株)三進製作所 岩田政司氏
		午後		粉粒体装置の設計と実際	新東工業(株) 天野寛之氏
	8月4日 (金)	午前	抽出・ 吸着	抽出・吸着の基本原理と応用	名古屋大学 神田英輝氏
		午後		抽出・吸着装置の設計と実際	三菱ケミカル(株) ハルジョ ベニー氏
	8月7日 (月)	午前	ガス吸収	気液平衡, 吸収, 膜分離	名古屋工業大学 南雲 亮氏
		午後		吸収装置の設計と実際	東亜合成(株) 勝尾智津氏
	8月8日 (火)	午前	攪拌・ 混合	攪拌槽の構成, 混合性能, スケールアップ, 異相系の攪拌	名古屋工業大学 加藤禎人氏
		午後		攪拌・混合装置の設計と実際	東亜合成(株) 鈴木日和氏
	8月9日 (水)	午前	固液分離	沈降分離, 濾過, 晶析の基本原理と応用	名古屋大学 向井康人氏
		午後		固液分離装置の設計と実際	(株)三進製作所 小栗秀一郎氏
8月10日 (木)	午前	調湿・ 乾燥	絶対湿度, 冷却減湿操作, 定率乾燥	静岡大学 立元雄治氏	
	午後		乾燥装置の設計と実際	(株)大川原製作所 大石剛之氏	
8月21日 (月)	午前	反応工学	反応速度, 反応器の分類と性能, 生物反応速度	岐阜大学 上宮成之氏	
	午後		反応装置の設計と実際	三井化学(株) 小瀧 泰氏	
8月22日 (火)	午前	プロセス 制御	プロセスと制御, 動特性, 過渡応答, 周波数応答	名古屋工業大学 米谷昭彦氏	
	午後		プロセス制御装置の設計と実際	(株)ENEOS マテリアル 森田弘一氏	

【参加の際のご注意】

- (注1)関数電卓, 定規を使用する場合がございますので用意下さい。
- (注2)本講座の配布資料や動画などは著作物のため, 複写・録音・録画・転載・上映・無断公開などの一切を禁止いたします。
- (注3)受講者様に起因する視聴トラブルについては, 弊会は責任を負えませんのでご理解下さい。
- (注4)配布資料ならびにテキスト(申込者のみ)は事前郵送します。郵送可能な住所をご登録下さい。

定員 各日ごとに90名

(いずれも定員になり次第締切とさせていただきます。企業向けの講座ですが, 学生が受講されても構いません。ただし, 定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。申込者数が最少催行者数に到達しない講義については, 開催しない場合があります。)

会員特典 化学工学会正会員, 学生会員ならびに法人会員会社社員の方は, 本講座の受講者に限り, テキストを特別販売いたします。

*利用するテキスト:『化学工学 改訂第3版』(朝倉書店)税込2,750円 → 1,000円
テキストをお持ちでない場合は, 参加費にテキスト代を加えてお申し込み下さい。

宛先

https://scej-tokai.org/
TEL : 080-4525-3070

「総合知によるカーボンニュートラルへの大学の挑戦」(仮)(13:00~13:05)

(名古屋大学 未来社会創造機構 機構長) 佐宗章弘氏

「カーボンニュートラル技術イノベーション・大学への期待」(仮)(13:05~13:10)

((一社)中部経済連合会)未定

「地域連携・産業間連携で挑むカーボンニュートラルの実現」(13:10~13:40)

(東京大学 環境安全研究センター)辻 佳子氏
書籍紹介(13:40~14:00)

(名古屋大学未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター センター長) 則永行庸氏

『カーボンニュートラルへの化学工学』出版記念シンポジウム

主催 公益社団法人 化学工学会東海支部
共催 公益社団法人化学工学会 地域連携カーボンニュートラル推進委員会
協賛 名古屋商工会議所 他

日時 2023年5月25日(木)13:00~17:50

場所 名古屋大学 野依記念学術交流館(名古屋市中千種区不老町)
<http://www.rcms.nagoya-u.ac.jp/access.html>
Zoom ウェビナーを利用したオンライン参加も同時に受け付けます。
(交通)地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車3番出口より徒歩5分

休憩(14:00~14:10)

「カーボンニュートラルに向け我が国独自の新しいエネルギーシステムを考える」(14:10~14:45)
((一財)エネルギー総合工学研究所)

橋崎克雄氏
「吸収法に依るCO₂分離回収」(14:45~15:20)

(名古屋大学 未来社会創造機構)町田 洋氏
「風力発電の国際動向~なぜ世界では風力発電の大量導入が進むのか?」(15:20~15:55)

(京都大学大学院 経済学研究科)安田 陽氏
「メタネーションの事業化展望」(15:55~16:30)

((株)INPEX)若山 樹氏
「アンモニア合成触媒の新展開」(16:30~17:05)

(名古屋大学 未来社会創造機構)永岡勝俊氏
「東海国立大学機構岐阜大学地方創生エネルギーシステム研究センターの概要紹介」(17:05~17:15)

(岐阜大学 地方創生エネルギーシステム研究センター センター長)上宮成之氏

閉会のご挨拶(17:15~17:20)

(化学工学会東海支部長/(株)三進製作所 特別顧問)柳下幸一

参加者, 著者との名刺交換, 交流(17:20~17:50)

定員 280名(会場定員:80名, Zoom ウェビナー定員:200名)

※ビデオ会議ツール「Zoom ウェビナー」ライブ配信での参加の場合の推奨環境については, 当該ツールをご参照ください。Zoom ウェビナーで参加の方には申込締め切り後, 開催

参加費(消費税を含む)

	第3クール (1日につき)
化学工学会正会員	10,000円
化学工学会法人会員会社社員	15,000円
共催・協賛団体会員	20,000円
学生会員	5,000円
会員外	30,000円

【注】第3クールは1日単位の受講形式です。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」からお申込み下さい。
<https://scej-tokai.org/> (開催1週間前を目途に, 配布資料とテキストをお送りいたします。)

申込締切 各日いずれも開催日の2週間前まで

送金方法 現金書留または銀行振込
みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521

「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

「公益社団法人化学工学会東海支部」

問合せ先 化学工学会東海支部
〒466-8555 名古屋市中区御器所町
名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研

プログラム
ご挨拶(13:00~13:10)

前日に視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。注意事項は、別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。

書籍 『カーボンニュートラルへの化学工学CO₂分離回収、資源化からエネルギーシステム構築まで』
 編者：公益社団法人 化学工学会 (ISBN：978-4-621-30772-4)、定価：3,190円(本体：2,900円+税10%)、発行所：丸善出版(株)
 ※会場参加の方は会場にて配布、オンライン参加者には締め切り後にテキストを郵送します。

参加費(書籍代・消費税を含む)
 化学工学会正会員：6,000円
 化学工学会法人会員社員/共催・協賛団体(個人・法人)会員：10,000円
 化学工学会学生会員/共催・協賛団体会生会員：4,000円
 会員外：20,000円
 ※オンライン参加の場合、複数名で視聴する場合は1名ごとに参加お申込みをお願いします。

申込方法 下記ホームページ「『カーボンニュートラルへの化学工学』出版記念シンポジウム」にアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込みください。
<https://scej-tokai.org/>

申込・振込期限 2023年5月18日(木)
 送金方法：銀行振込 または 郵便振替(ゆうちょ銀行)
 銀行振込：みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521 公益社団法人化学工学会東海支部
 郵便振替：名古屋00880-7-5640 公益社団法人化学工学会東海支部

問合せ先 〒466-8555 名古屋市中昭和区御所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内
 公益社団法人化学工学会東海支部
 TEL：080-4525-3070
 E-mail：info@scej-tokai.org

止するための安全対策 (SL経営) 蒲池正之介
参加申込締切 6月2日(金)
参加費 共催団体会員 32,000円、大学官公庁所属 20,000円、学生 8,000円、非会員 42,000円
参加申込方法 詳細は<https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen23.html> をご参照下さい。
問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
 日本化学会近畿支部
 TEL：06-6441-5531 FAX：06-6443-6685
 E-mail：csjevent@kinki.chemistry.or.jp

九州支部

第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会参加募集

主催 化学工学会九州支部、化学工学会九州支部若手の会、Q・NET(化学工学会九州支部若手エンジニア連絡会)

第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を、来たる2023年7月14日(金)～15日(土)に「鹿児島大学」にて開催いたします。本会は学生企画や研究発表などのプログラムを通して、若手研究者の交流・意見交換を行うことで、その後の研究活動に対する啓発を促すことを目的としています。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

※新型コロナウイルス感染症の状況等によっては内容が変更される可能性があります。最新版は九州支部のサイト (<https://scej-kys.org/kyushu/>) でご確認ください。

日時 2023年7月14日(金)～15日(土)
会場 鹿児島大学 学習交流プラザ、および稲盛会館(〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40) (交通)九州新幹線「鹿児島中央駅」下車・市電「唐湊駅」下車

プログラム
 大会1日目(7/14) <13:00～17:00を予定>
 1)参加受付・開会
 2)若手の会学生企画①
 3)特別講演会①
 4)特別講演会②
 5)Q・NET会議
 6)親睦会
 大会2日目(7/15) <10:00～13:00を予定>
 1)ポスター発表「学生による研究発表」
 2)若手の会学生企画②
 3)総合討論・優秀ポスター賞表彰式・閉会式

参加費 無料
 ※本討論会は2日間の開催を予定しております。ホテルは各自でご予約ください。

申込締切
 1)ポスター発表申込締切：2023年6月8日(木)
 2)要旨原稿締切：2023年6月15日(木)
 3)参加申込締切：2023年6月29日(木)

要旨・ポスター発表
 要旨は、A4版白黒1ページ、上下左右にマージン25mm、文字サイズ10.5ポイント程度、1行目にタイトル(12ポイント、センタリング)、3行目に研究者名(10.5ポイント)、4行目は空け、5行目から内容(2段組)、最後に、連絡先住所・TEL・E-mailをご記入ください(九州支部ホームページ上の要旨サンプルをご参考ください)。完成した要旨はWordファイル形式で、できる限り

所属機関(大学等)単位でまとめてお送りください。
 ポスター発表は、通常の学会における発表とは異なり、研究意義や目的などの研究背景を中心としたものとし、実験データの掲載は必要最小限に留めることとします。また、優秀発表者に対してはポスター賞の授与を行います。ポスターサイズはB1サイズ(728mm×1,030mm)とします。B1の用紙を縦に利用して印刷したものを当日会場へ持ちください。

発表・参加申込・要旨提出先
 発表希望者および参加希望者は、参加・発表申込書テンプレートに①氏名、②所属機関(大学名、所属研究室・部署、学年・職位)、③年齢、④性別、⑤ポスター発表の有無、⑥発表タイトル、⑦代表者連絡先(氏名、所属、電話番号、E-mail)を記入の上、下記連絡先(学生幹事代表：山下)までE-mailにてお申込みください。同じ所属機関の参加者は、できる限り所属機関(大学等)毎に取りまとめてお申込みください。

申込み・問い合わせ先
 学生幹事代表：山下祐典(鹿児島大学大学院理工学研究科 総合理工学専攻)
 E-mail：k0485471@kadai.jp
 補佐教員：武井孝行(鹿児島大学大学院 理工学研究科工学専攻化学工学プログラム)
 E-mail：takei@cen.kagoshima-u.ac.jp
 TEL：099-285-3283
 住所：〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 工学部内化学学生命棟3階

第34回化学工学に関する国際シンポジウム(ISCHE2023)

共催 化学工学会、化学工学会九州支部、韓国化学工学会

本シンポジウムはアジアの学生の交流を目的として毎年開催しています。今年は大韓民国慶州市のThe K Hotel Gyeongjuで開催いたします。全国からの参加申込みを歓迎いたします。

日時 2023年12月1日(金)～2日(土)
 英語での口頭発表、懇親会

場所 The K Hotel Gyeongju (<https://www.thek-hotel.co.kr/en-gjmh/company/introduce.do>)

参加費 正会員 20,000円、学生会員 10,000円

申込締切 7月31日(月)

申込方法 研究室毎にお纏めの上、下記にメールで申し込みください。
 [1]title of paper
 [2]authors(発表者に下線)
 [3]affiliation (department, university, city, postal code)
 [4]selection of session code (下記のセッションリストの記号を記入ください。)
 [5]研究室の連絡責任者氏名、身分、電話、E-mail(日本語)

セッション名
 A：Biotechnology
 B：Energy & Environment
 C：Advanced Materials
 D：Reaction and Reactors
 E：Thermodynamics & Separation

申込先 〒860-0082 熊本市西区池田4-22-1 崇城大学工学部ナノサイエンス学科 草壁克己
 TEL：096-326-3614
 E-mail：kusakabe@nano.sojo-u.ac.jp

予稿用の論文(A4、2頁)の締切は10月15日(日)です。申し込み後に論文体裁やシンポジウムの連絡をメールで行います。

関西支部

第29回化学安全講習会

主催 日本化学会近畿支部
共催 化学工学会関西支部 等

日時 2023年6月19日(月)～20日(火)
開催形式 19日オンライン、20日対面
会場 20日 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4)

プログラム
 第1日目・19日(月)10:00～16:00
 1. 化学物質の発火・爆発危険性について (産総研)松永猛裕
 2. 労働安全衛生規則等の一部を改正する省令(令和4年厚生労働省令第91号(令和4年5月31日))への対応について～住友化学における取り組みの紹介～ (住友化学)稲若邦文
 3. 化学プラントとリスクアセスメント (京葉人材育成会)中村昌允
 第2日目・20日(火)10:00～16:30
 4. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理 (阪大安全衛生管理部)山本 仁
 5. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント (阪大安全衛生管理部)山本 仁
 6. 実験で解説する静電気による火災・爆発を防